



## 祭りばやしが一堂に

10/20 安曇野祭りばやし演奏会

第2回安曇野祭りばやし演奏会(同実行委員会など主催)が10月20日、国営アルプスあづみの公園で開かれました。

この演奏会には、穂高・三郷・堀金・明科地域から7団体が参加。それぞれの地域が受け継いできた個性あふれる笛や太鼓の音色を披露しました。実行委員会会長の平田進彬さんは、「指導者の高齢化などで、地域のおはやしが存続できなくなっているという話を聞くと、寂しさを感じます。この演奏会が、コミュニケーションの場となり、連携の場となれば」と期待を寄せています。



## 環境に◎ペレットストーブ

10/2 ペレットストーブの集い

環境に優しいペレットストーブに関心を持ってもらおうと「ペレットストーブの集い in安曇野2007」が10月2日、三郷公民館講堂で開かれました。

この日は、市内外からペレットストーブに関心のある人など約80人が参加。実際に利用している人との意見交換やストーブ販売業者による燃焼実演などが行われ、参加者は熱心にメモを取るなど、説明に聞き入っていました。

## 被災乗り越え白鳥飛来

10/16 シーズン最初の確認

コハクチョウの飛来が10月16日、安曇野市内で確認されました。

昨年は、災害による犀川白鳥湖付近の堤防流出や暖冬の影響もあり、飛来数は前年の3分の1になっていましたが、今年は、流された堤防などが復旧し、駐車スペースや見物場所も設置され、ハクチョウが飛来できる環境が整いました。

また、御宝田遊水池でもカメラマンや散歩で訪れる人達が多く見られました。

これから本格的な冬を迎え、飛来のピークは1月末から2月となりそうです。



## 平和への誓いを新たに

10/5 市戦没者追悼式

安曇野市戦没者追悼式が10月5日、豊科公民館ホールで行われました。

この日は、遺族や関係者など約500人が参列。黙とうをささげ、祭壇に献花を行い、戦争で失われた多くの人たちの冥福を祈るとともに、平和への願いを新たにしました。平林市長は、「今日の日本の平和と繁栄は、多くの尊い犠牲の上に築かれていることを忘れることなく、市民一丸となって魅力ある地域づくりに努力していきたい」と誓い、市遺族会会長の清水充さんは「祖国や家族を思い、戦地に散った英霊が犠牲になっていることを忘れてはいけない。平和の尊さを語り継いでいきたい」とあいさつしました。



## 水泳楽しむコツつかんで

10月～ 障害児・者のための「すいすい水泳教室」

障害者へのスポーツ指導・支援を行っているサンスポートまつもとが、安曇野市内の障害児・者を対象とした水泳教室「すいすい水泳教室inあづみの」を、10月11日から8回にわたってあづみ野ランドで開催しています。定員10人に対して倍の20人から申し込みがあり、初回のこの日は、抽選で選ばれた10人の小学生などが集まりプール遊びを楽しみました。指導員の太田澄人さんは「障害のある皆さんが、学校や家以外でもスポーツを楽しむきっかけになれば」と話していました。



## 高橋節郎賞は矢口達也君

10/7 少年少女安曇野の風景画展表彰式

今回で2回目となる、高橋節郎賞少年少女安曇野の風景画展表彰式が10月7日、安曇野高橋節郎記念美術館で行われました。表彰式には千笑夫人も出席し、入賞者に記念品などを手渡しました。

この風景画展は小中学生51名が参加し、9月30日に開かれた絵画教室で描かれた作品を展示、審査したものです。高橋節郎賞を受賞した矢口達也君には、高橋節郎作のガラス作品「鳥の詩」が贈られました。矢口君は、「絵を描くことは大好きです。思いもよらなかったの、とてもうれしいです」と話してくれました。